

平成21年12月議会～平成22年9月議会 黒河内浩の市議会活動報告



No.8

発行所 黒河内浩後援会
伊那市美篤上原4592-3
TEL.74-8840
発行責任者 西村秀雄

Ⅲ ごあいさつ
今年4月の市議会議員選挙にて3回目の当選を果たすことができました。ありがとうございました。伊那市の発展、地域の振興のためには「黒河内浩」が必要だとして応援してくれた多くの皆さんに心から感謝申し上げます。
この議会報告も第8号となりました。今後も応援して下さい皆さんの考えや要望に謙虚に耳を傾け、その期待に応えるべく議員としての職責を果たすよう頑張っていきたいと思ひます。

ホームページをごらんください。 <http://www.kurogouchi.jp/>

新たに『議会改革特別委員会委員長』に就任

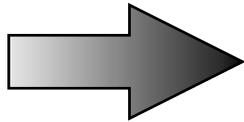
議会をもっと市民に身近で分かり易いものとするために、「議会改革特別委員会」が設置され、その委員長に就任しました。
この委員会で「伊那市議会基本条例」を制定し、議員・議会の責務、活動原則や市民と議会との関係を明確化し、市民の期待に応えられる議会とするよう委員長として議事をリードしていきます。



伊那市議会『社会委員長』としてがんばりました。

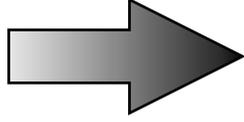
1. 伊那市保健センターの完成に努力

旧中央病院跡地に新保健センターが3月オープンしました。市民の健康維持のための保健予防の拠点となります。



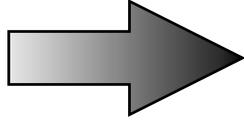
2. 子育て支援体制の充実

相次ぐ新保育園の新築に努力（H21.3月 美篤保育園完成）。その他 今年「富県保育園」完成・来年「西箕輪保育園」完成予定



3. 「ほっとセンターみすず」（旧老人憩の家）を移転改築する

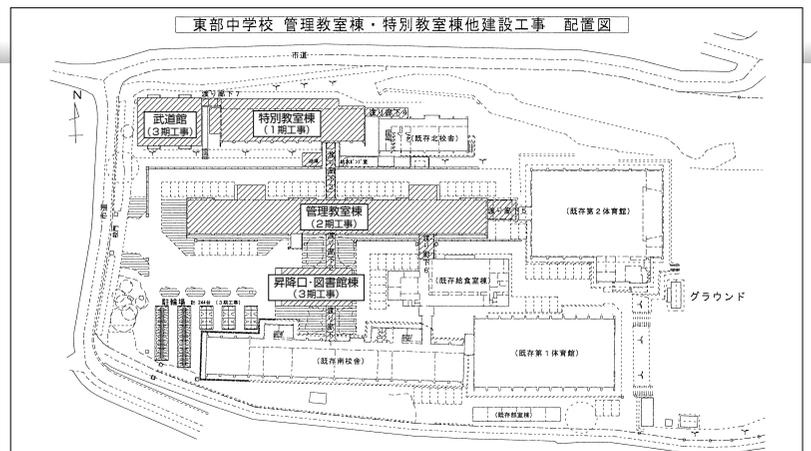
美篤保育園と連携をとった世代間交流施設です。



4. 東部中の大規模改築工事に着手します

- **工事期間** 平成22年10月～平成25年3月まで（3年間）。
- **工事費** 総額 約15億円（校舎北側の法面工事も含む）。
- **工事内容** 北側の技術棟（木工室、金工室）を3階建に。本校舎も3階建に全面改築。さらに武道館を新築。

＜詳細は右記図面参照＞



平成22年 一般質問の要旨

【平成22年9月議会】

1. 「安全都市」伊那市を目指し「セーフコミュニティ」認証取得を

質 問 安全を充実するためにもWHO（世界保健機構）の「セーフコミュニティ」の認証取得を目指すべきだ。防災対策のため東京消防庁航空隊を視察
答 弁 検討していきたい

2. 駐在所の統合による交番化構想について

質 問 夜間・休日の警備体制の強化のためには、美篤・富県・東春近・西春近の4駐在所を統合し、新たにもう1つの交番を設置するよう行政も対応すべきだ。
答 弁 警察とも連携をとっていくが、大切なのは地域での説明と合意だ。

3. スポーツによる観光資源の推進について

質 問 伊那市はスポーツの施設や陸上競技の野外練習が可能な場所が多くある。観光としての観点からも大会や合宿を誘致するべく市長自らが営業すべきだ。
答 弁 スポーツ施設が充実しているので合宿等の誘致を春の高校駅伝の際に宣伝していきたい。



【平成22年6月議会】



(美篤未広、手良、福与)

1. 4月に白鳥新市長が誕生し、市長の市政に対する考えを問う。

質 問 内容 市長に対して、伊那市に対する思いや将来の長期ビジョンについて
市長 答 弁 長期間のビジョンを立てて臨みたいが、10年先を見据えて観光産業を大切にしたい。

2. 市長の伊那市の財政状況についての認識

質 問 内容 伊那市の財政状況に対する市長の認識と今後の財政運営方針について
市長 答 弁 実質公債比率と将来負担比率の数字は高いが、危険な状態ではない。今まで以上に健全財政に向けた努力はしていく。

3. リニアのルート問題について

質 問 内容 国民の声はCルートで、伊那市民もBルートに対して冷やかだ。Bルートが伊那市にどのようなメリットを生じさせるのか市民の多くが疑問を持っている。ルート問題については客観的に全体を見て、市民や議会を含めて議論し直すことが必要だ。Bルート堅持よりも飯田線を中心とする地域振興策の方が重要だ。
市長 答 弁 中央の都合だけで考えるのではなく、地方が生き続けることを考えていくことも必要だ。

【平成22年5月上伊那広域連合議会】

環境アセスメント実施に対する対応策について

質 問 環境アセスメント実施に対しては、地域住民に対する配慮と説明責任が必要。
 ①方法書案の作成段階で地域住民の意見を聞いて反映させていくことが必要ではないか？
 ②8市町村長が出席した住民説明会を実施すべきだ。
答 弁 ①地域住民と対話し、関係区や対策委員会としての意見・要望をまとめ、反映できるものは反映させていきたい。
 ②どのように実施するか理事者間で話し合っていく。



ごみ中間処理施設の視察

【平成22年3月議会】

1. 児童虐待の実態と防止の対応策について

質 問 児童虐待の実態は？ 防止の対応策は？ 特に家庭教育を充実させるよう提言。
答 弁 ①実態—毎年増加傾向にある。暴力や育児放棄の事例がある。
 ②対策—虐待防止対策のマニュアルを作成し配布。民生児童委員による家庭訪問の実施。

【平成21年12月議会】

1. 新「保健センター」の運用と活用について

質 問 旧中病跡地に建設される保健センターについて。その運用のあり方について質問
 特に、医療機関・福祉関係団体との連携の必要性を取り上げ、市としての対応について質問
答 弁 保健センターは市民の保健予防の拠点施設となる。市民の健康を守る施設として運用できるようにしていきたい。

2. 東部中の耐震化に伴う大規模改築について

質 問 ①狭い敷地解消のため、移転改築はできなかったか？
 ②改築に合わせ、長野県1の大規模校解消のための通学区変更を検討すべきではないか？
答 弁 ①移転には用地の確定など時間がかかり、また用地の購入・グラウンドの造成・建築等約53億円かかり、財政的に難しい。
答 弁 ②通学区のあり方について、最重要課題として取り組んでいく。



ありがとうございました。

後援会活動
 今年は8月22日（日）に後援会主催のマレットゴルフ大会と暑気払いを多数の参加者のもとに実施しました。